

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	第4回 姫路市DV(配偶者等からの暴力)対策基本計画策定会議
2 開催日時	令和4年2月3日(木曜日) 14時00分～15時00分
3 開催場所	姫路市総合福祉会館 5階 第1会議室
4 出席者又は欠席者名	委員 高田座長、大森副委員、紺谷委員、稲葉委員、東委員、 小久保委員 欠席 白井委員、大幸委員、高橋委員、瓦井委員、川原委員 事務局 健康福祉局長ほか7名
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人0名
6 議題	(1) パブリック・コメントの募集結果について (2) 計画(案)の最終とりまとめについて
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

事務局	<p>1 開会 (14:00)</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリック・コメントの募集結果について ・計画(案)の最終とりまとめについて (資料1から資料3に基づき説明) <p>【質疑応答】</p>
A 委員	<p>資料2の2ページ。「IV 計画の進捗管理」のDV相談件数について、男女共同参画センターやこども支援課でもDVに関する相談があるのに、DVセンターにおける相談件数に限定する理由は何か。</p>
事務局	<p>男女共同参画センターやこども支援課でも相談は受けているが、DVセンターの相談件数に限定する方が件数の変動がわかりやすいと考えた。</p>
A 委員	<p>国や県に相談件数を報告すると思うが、件数はまとめて報告しているのか。</p>
事務局	<p>県にはDVセンター以外の相談件数も合わせて報告している。</p>
A 委員	<p>合わせて報告しているのなら、男女共同参画センターとこども支援課の件数も含めた方がよいのではないか。基本計画のなかに、面前DVに関する記載もある。児童虐待とDVは相互に重複して発生していることも意識しているので、こども支援課などの相談件数も含めた項目にした方がよいと思う。</p>
事務局	<p>「本市のDVに関する相談件数」に修正します。</p>
G 委員	<p>資料2の5ページ。「(6)一時保護後の行先」で「母子寮」になっているが、母子寮という名称はないので、「母子生活支援施設」に修正をお願いしたい。「婦人寮」も「婦人保護施設」に修正をお願いします。</p>
事務局	<p>「母子生活支援施設」、「婦人保護施設」に修正します。</p>
G 委員	<p>資料1の3ページ。番号8でSNS等を活用した相談受付の検討についての記載があるが、SNS等の活用はできていないのか。</p>
事務局	<p>メールでの相談があれば、現在は、メールでの対応ではなく、面談への働きかけを行っている。</p>
A 委員	<p>資料1の3ページ。番号7の市民意見で、母子健康手帳等にDVに関する記載をしてほしいとある。市の考え方では、「これから記載します。」というふうに読まれないか。現在も母子健康手帳等に記載しているので、市の考え方に「記載しています。」とした方がよいと思う。</p>
事務局	<p>「今後も」として、現在も記載していることを表現したが、わかりやすく、「現</p>

	在も記載している。」というような文言に修正したい。
A 委員	資料1の5ページ。番号18の市民意見「苦情処理体制の周知・活用促進」については、姫路市では被害者へのアンケートを実施している。これは、他都市ではない取組であり、特徴がある。苦情処理ではないが、このような取組を行いながら、他都市の相談体制についても調査・研究するとした方がよいと考える。
事務局	資料2の17ページに「基本目標2 推進体制の充実 (3)調査・研究の推進 【施策①】被害者へのアンケートの実施」を掲げているので、これも踏まえて修正したい。
G 委員	資料1の2ページ、番号3の福祉関係者は、市役所の職員のことか。それとも施設関係者等も含んでいるのか。
事務局	資料2の15ページ。「基本目標1 啓発・教育の推進 (3)保健医療・福祉関係者等への啓発の推進」をご確認いただきたい。【施策①】は保健医療機関・福祉関係者、【施策②】は市の職員と啓発の対象を区別して記載している。
G 委員	市の職員には研修を実施しているのか。
事務局	今年度は、新規採用職員の研修プログラムにDV研修も含めて実施した。また、職員向けには多くの研修が実施されており、時間的な制約もあるが、DV研修の実施を関係課に要望したい。
A 委員	福祉関係者には、保育士も含んでいるのか。保育士もDVの問題を抱える方に会うことが多いので、保育士への研修は重要だと考える。保育士の文言を計画の中に記載してほしい。
事務局	資料2の15ページ。「基本目標1 啓発・教育の推進 (2)学校等における啓発・教育の推進 【施策③】教職員等に対する啓発の推進」のなかで、「保育士」については記載している。
A 委員	他に何か意見や感想はあるか。
J 委員	計画全体を確認したが、対策は網羅されていると考える。
K 委員	パブリック・コメントを見ると、市民の方が関心を持って、細かい部分まで見ていると思った。DVへの意識の高さを感じている。
I 委員	改めて、早期発見の役割は大切だと感じた。学校では、こどもが長い間休んでいるとき、学校から離れないように、クロームブックを活用し、朝の会などでこどもとの関係を繋げている。家の中が映り込むのが嫌だとか、家が片付いていないなどの理由で、クロームブックの活用を家庭から断られる場合もある。分からないこともないが、一步踏み込めば、何か見られてはいけないものがあるのではとも考えられる。現場としてアンテナを張っておかないといけないと感じた。
C 委員	早期発見は重要なことだと感じる。民生委員も地域でDVに関する情報を収集していきたい。

G 委員	資料 2 の 4 ページ。「(5)姫路市DVセンター相談者の一時保護人数」がある。平成 24 年度の 16 人から令和 2 年度は 9 人と減少している。これは、一時保護に至らなかった者が増えたということによいのか。
事務局	県の発表でも、一時保護件数は減少している。相談窓口の周知もあり、一時保護に至る事案が減っているのではないかと推察する。
A 委員	他に意見がないようなので、本日の議事は終了します。委員の皆様からのご意見は、事務局で整理していただきたいと思う。また、計画案への反映については、A 委員一任でよいか。
委員	異議なし。
	終了 (15 : 00)